

整理番号	7	作成日	平成 17 年 6 月 20 日
事業名	バリアフリー化事業の推進		
所属名	都市開発部 都市計画課 庶務係	(03) 5662-1100 (直通)	

**事業の目的及び概要**  
 区民誰もが移動しやすく活動の場を広げられるまちづくりを進めるため、区民施設のエレベータ設置、歩道の段差解消、信号機に音声誘導装置を設置、鉄道駅のエレベータ・エスカレータの整備促進等を実施しています。

**事業の開始年度** 12年度（区民施設のバリアフリー化）、6年度（歩道の段差解消）

**現在の課題**  
 バリアフリー化事業の推進には、経費を要します。  
 事業主体が多様なため計画的整備が困難。  
 民間施設のバリアフリー化の促進。

**事業の対象者と動向**  区民全体  対象年齢あり ( )  
 [区人口・各年4月1日現在]  対象条件 ( )

14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	対象の傾向
640,389人	646,974人	653,743人	657,767人		↗ 増加傾向

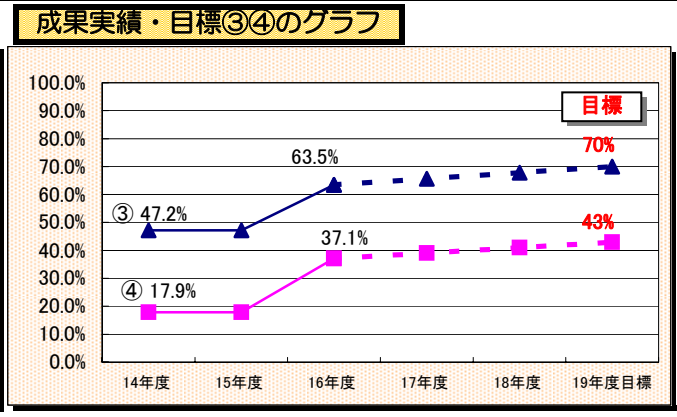
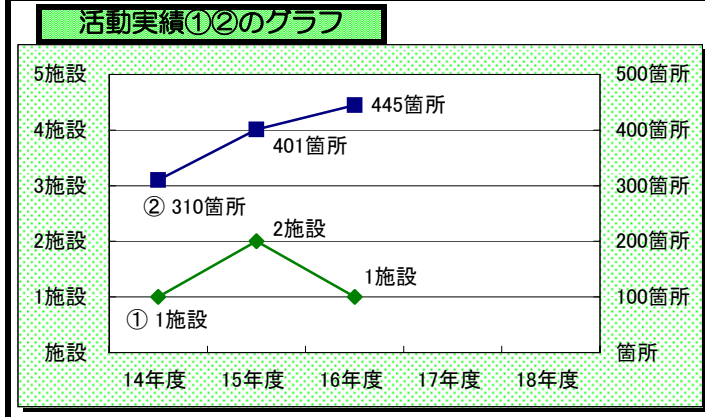
備考： 年齢に関係なく、全区民を対象

活動指標名	活動指標の説明
① バリアフリー化した区民施設数	1年間に整備したエレベータの施設数
② 段差解消した歩道の箇所数	1年間に整備した歩道段差解消箇所数

	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	16年度末実績
①	1施設	2施設	1施設	施設	施設	区民施設エレベータ設置率 53% (対象 68施設 設置 36施設)
②	310箇所	401箇所	445箇所	箇所	箇所	歩道段差解消実施率 60% (対象 8,465箇所 整備 5,070箇所)

成果・目標指標名	成果・目標指標の説明
③ 区民施設の整備評価	区民世論調査における区民施設が「整備されている」との評価
④ 歩道の整備評価	区民世論調査における歩道が「整備されている」との評価

	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度目標	目標値設定の説明
③	47.2%	47.2%	63.5%	%	%	70.0%	区民世論調査による「整備されている」との評価の増を目指します。 なお、14・15年度の数値は12年度のものであります。
④	17.9%	17.9%	37.1%	%	%	43.0%	



# 事業名 バリアフリー化事業の推進

## 実施の根拠となる法令等

高齢者、身体障害者等が円滑に利用できる特定建築物の建築の促進に関する法律  
東京都福祉のまちづくり条例

## 民間委託やボランティアなどとの協働の状況

なし  あり

委託等の内容（ ）

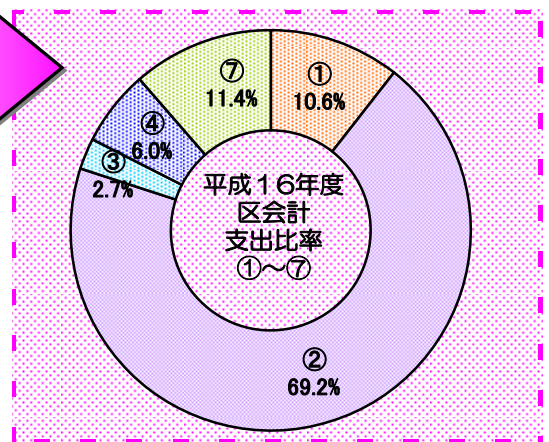
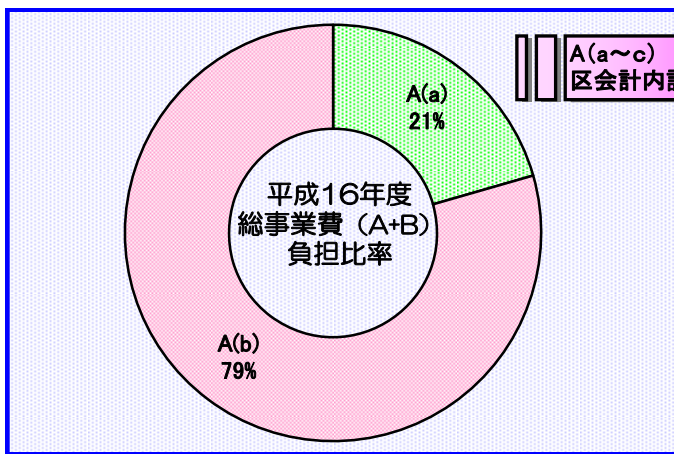
## 対象事業に関連する他の事業

	事業名	事業概要
①	音声誘導装置設置事業	信号機に音声誘導装置を設置します。
②	鉄道駅のバリアフリー化調整事業	鉄道駅の昇降施設整備を促進します。
③		

## その他背景・他の自治体の状況等

バリアフリーマップを作成し、平成16年4月各事務所等で配布しています。  
また、まちづくりホームページに掲載しています。

16年度総事業費 (A+B) 324,275千円



## A 区の会計内訳 (a~c)

324,275千円

A(a) 国都支出金 (歳入)	66,692千円
A(b) 区負担分	257,583千円
A(c) 受益者負担 (歳入)	0千円

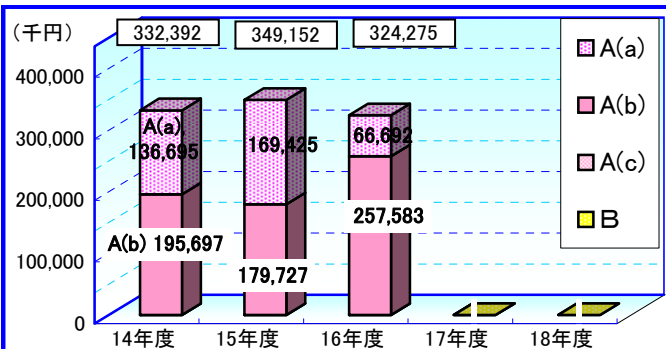
## 支出内訳 (①~⑦)

① 区民施設のバリアフリー事業	34,440千円	エレベータを設置する経費
② 歩道の段差解消事業	224,532千円	歩道段差解消の経費
③ 音声誘導装置設置事業	8,715千円	音声誘導装置の経費
④ 鉄道駅のバリアフリー化調整事業	19,607千円	駅エレベータ・エスカレータを設置する経費
⑤		
⑥		
⑦ 区職員人件費	36,981千円	設計を行う経費や工事管理を行う経費など

## B 利用者が事業者等へ直接支払う額

0千円

## 総事業費の経年変化 (14年度~)



16年度の

区民一人あたりの経費

496円

## 経費の説明

歩道の年間段差解消箇所数は増加していますが、エレベータの設置数の1基減により総事業費はやや減少しています。

# 平成17年度 江戸川区「行政評価」内部評価シート

<b>整理番号</b>	7	<b>事業名</b>	バリアフリー化事業の推進
-------------	---	------------	--------------

<b>所属名</b>	都市開発部 都市計画課 庶務係
------------	-----------------

## 所 管 課 長 評 価

そう思う ←→ そう思わない

評価項目	評点	5	4	3	2	1	備 考
<b>【必要性・代替性】</b>							
1	区が実施すべき事業である。		○				
2	目的を達成するために他の手段がある。			○			
<b>【実績】</b>							
3	目的を果たすために有効な事業である。	○					
4	事業の成果を上げている。	○					
<b>【公平性】</b>							
5	対象者や実施回数、助成額等は適切である。		○				
6	受益者負担を検討する必要がある。					○	
<b>【協働の可能性】</b> ※既に実施している場合は、拡大・維持・縮小の可能性として評価							
7	ボランティアやNPOの活用が可能である。					○	
8	民間委託の可能性はある。					○	
<b>【効率性】</b>							
9	工夫や改善が必要である。			○			
10	経費を削減できる可能性がある。			○			

## 所 管 部 長 の 意 見

成果指標を施設の利用者としていることは、指標としての安定性に課題はあるが、整備する側の独善的評価に陥らないために重要である。利用頻度の高い施設から効果的な整備に取り組むことにしたい。

# 平成17年度 江戸川区「行政評価」外部評価シート

<b>整理番号</b>	7	<b>事業名</b>	バリアフリー化事業の推進
			<b>所属名</b> 都市開発部 都市計画課 庶務係

## 外部評価委員会評価

そう思う ←→ そう思わない

評価項目	評点	5	4	3	2	1	備考
<b>【必要性・代替性】</b>							
1	区が実施すべき事業である。	○					
2	目的を達成するために他の手段がある。				○		
<b>【実績】</b>							
3	目的を果たすために有効な事業である。		○				
4	事業の成果を上げている。		○				
<b>【公平性】</b>							
5	対象者や実施回数、助成額等は適切である。		○				
6	受益者負担を検討する必要がある。			○			
<b>【協働の可能性】</b> ※既に実施している場合は、拡大・維持・縮小の可能性として評価							
7	ボランティアやNPOの活用が可能である。		○				問題のある箇所の選定などに活用してはどうか
8	民間委託の可能性はある。				○		
<b>【効率性】</b>							
9	工夫や改善が必要である。		○				(地元が)本当に必要としているか考察すべき
10	経費を削減できる可能性がある。		○				(地元が)本当に必要としているか考察すべき

## 外部評価委員会の意見

- ・バリアフリーの問題は、エレベーター、歩道段差解消のみならず、今後ますますニーズが広がっていくものと考えられる。
- ・車イスの方や身体の不自由な方の外出の機会が増えてきている。たいへん良いことであり、安全な通行を確保できるよう、今後も事業の継続を期待する。
- ・効率的にバリアフリー化を進めるには、まず、バリアフリーすべき箇所のチェックから始めるのがよいのではないか。
- ・成果指標として、整備評価(区民アンケート)を使っているが、実際の整備率を指標としてもよいのではないか。
- ・アンケートを指標とした場合、個々の考え方によって、整備状況の解釈(あるべき姿)に差が出るため、いつまでたっても現状が「理想の状態」に追いつかないということになってしまう可能性が高い。
- ・区民の満足度によって、不足している部分が見えてくるのであれば、アンケートを成果指標としてもよいのではないか。